

2019年4月4日

高等教育キーパーソン各位

地域科学 KKJ セミナーニュース 513
デジタル・グローバル時代の社会評価—
大学発信情報のコンテンツと戦略的公開
～ 教育・研究／財務・経営／社会事業／説明責任 ～
ご参画・ご派遣のお願い

法人・大学情報の“戦略的公開”は、学内及び社会の信認と評価を得るとともに、自学の未来を拓く最大・至高の文装方策といえます。法令的には公表事項は努力義務～義務化と拡大しておりますが、本来的に自主・自立の見識ある立場からの説明責任と戦略的発想が求められます。

1年後に実施予定のいわゆる「高等教育無償化」の中では、「機関要件」として定員充足状況等の開示、今次の私立学校法の改正では、財務情報の公表、寄附行為・役員等名簿の公開、事業報告書の内容充実、役員報酬基準の開示を求めています。

何を、どこまで、どこで、いかに情報発信するかが、経営・教学のトップ及び企画・IR・広報担当者に鋭く問われております。教育・研究、財務・経営、社会事業等の各分野から発信すべきコンテンツを企画し、データ調査・収集、取材、編集の上、有効にメディア発信していきたいものです。

デジタルネット・イノベーションの加速の中で、情報公開のあり様もパラダイムシフトし、大学の規模や地域の差をこえて、グローバル&ローカルな発信を可能としております。まさに、知恵と工夫のしどころであります。

さて、本セミナーでは、4名のキーパーソン氏から、情報公開を巡る近年の政策動向や国際情況、そして戦略的取組みや先進事例について、ご講義を賜ります。

森 利枝氏（大学改革支援・学位授与機構）からは、高等教育情報公開の国際的潮流、アジア太平洋の高等教育の「資格枠組み」東京規約とNIC、大学情報ポータルサイトの展開方向について、ホットな解説をいただきます。

本間 政雄氏（大学マネジメント研究会／梅光学院）からは、情報公開の意義と新たなスキーム、対象となるデータ、先進・英国の学生満足度調査と大学情報ポータルサイトについての紹介と我が国の今後の制度設計への具体提言をいただきます。

増田 正人氏（法政大学）からは、情報公開に先駆的・先進的に取り組んできた法政大学の事例について、各ステークホルダーへのきめ細かい取組み、ブランディングと広報シナリオ、そしてHOSE I 2

030について、報告いただきます。

山下 剛氏（福岡工業大学）からは、長年にわたる教職協働による経営実践により、大学改革のトップランナーである福岡工業大学から、マネジメントシステムに組み込んだ情報公開、事業報告書と教育・研究活動報告書の特徴と効果等について報告いただきます。

つきましては、新年度を迎え、ご多用の折とは存じますが、貴学のキーパーソン各位に、ぜひともこの機会にご参画・ご派遣を賜りますよう、お願い申し上げます。

また、ご関心の各位にご転送・ご案内いただけましたら、幸いです。

パンフレット版は、下記よりご覧いただけます。

<http://chiikikagaku-k.co.jp/kkj/seminar/190419.pdf>